



清水赤十字病院

事務部 大川浩二

第26回日本医療マネジメント学会学術総会
2024. 6. 21-22 (福岡)

診療報酬請求業務効 率化と働き方改革へ の対応

第26回日本医療マネジメント学会学術総会

COI開示

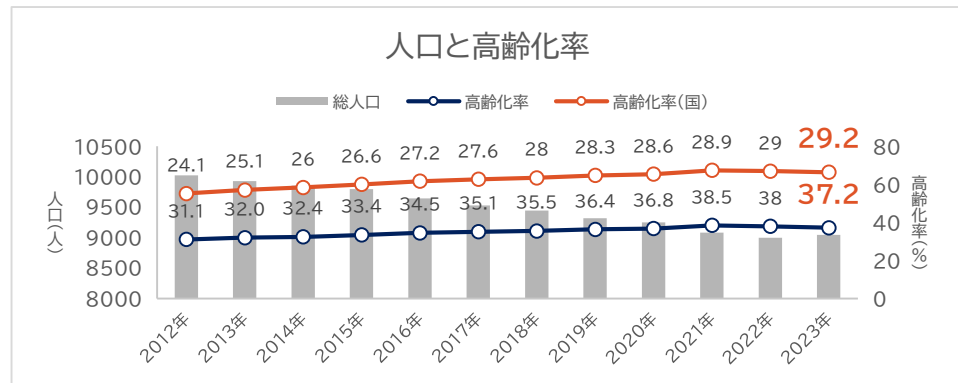
筆頭発表者 大川浩二

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

所在地(医療圏)概要



■人口	8831人(清水町)
■高齢化率	37%
■人口減少率 (2013-2023年)	9%
■受療率	69%(入院)
	78%(外来)
■基幹産業	酪農, 畑作
■面積	402.25km ²
	※2024年4月1日 現在



医療圏面積≒香川県
病院2機関, 診療所4機関

十勝医療圏(二次, 三次)
※岐阜県< 秋田県>



病院概要

日高山脈襟裳十勝国立公園

(2024年7月指定予定)

新管理棟 2023年
透析棟 2001年
本館 1989年
旧館 1965年

(病床)

- ▶ 急性期一般
- ▶ 地域包括ケア入院管理科
- ▶ 障害者等

(標榜)

- ▶ 内科, 消化器内科, 循環器内科
- ▶ 外科, 整形外科, 泌尿器科
- ▶ 精神科/心療内科
- ※総合診療科, 人工透析

(付帯・在宅)

- ▶ 在宅療養支援病院
- ▶ 訪問看護ステーション
- ▶ 居宅介護支援事業所
- ▶ 訪問リハ/通所リハ事業所

(地域)

- ▶ 介護老人福祉施設
- ▶ 社会福祉施設
- ▶ 有料老人ホーム他嘱託契約
- ▶ 企業産業医, 学校医契約
- ▶ 警察医契約

(数値)

- ▶ 病床数 91床
- ▶ 病床稼働率 70.2%
- ▶ 平均在院日数 18.9
- ▶ 1日平均入院患者数 63.8名
- ▶ 1日平均外来患者数 110.1名
- ▶ 職員数 117名
*医師5名, 看護師60名
- ▶ 医業収支 ▲20千万
- ▶ 経常収支 +1.4千万

(連携機関)※医師関連

- ▶ 福岡赤十字病院
- ▶ 日赤愛知名古屋第二病院
- ▶ 姫路赤十字病院
- ▶ 石巻赤十字病院
- ▶ 仙台赤十字病院
- ▶ 深谷赤十字病院
- ▶ 旭川赤十字病院
- ▶ 釧路赤十字病院
- ▶ 旭川医科大学
- ▶ 日鋼記念病院

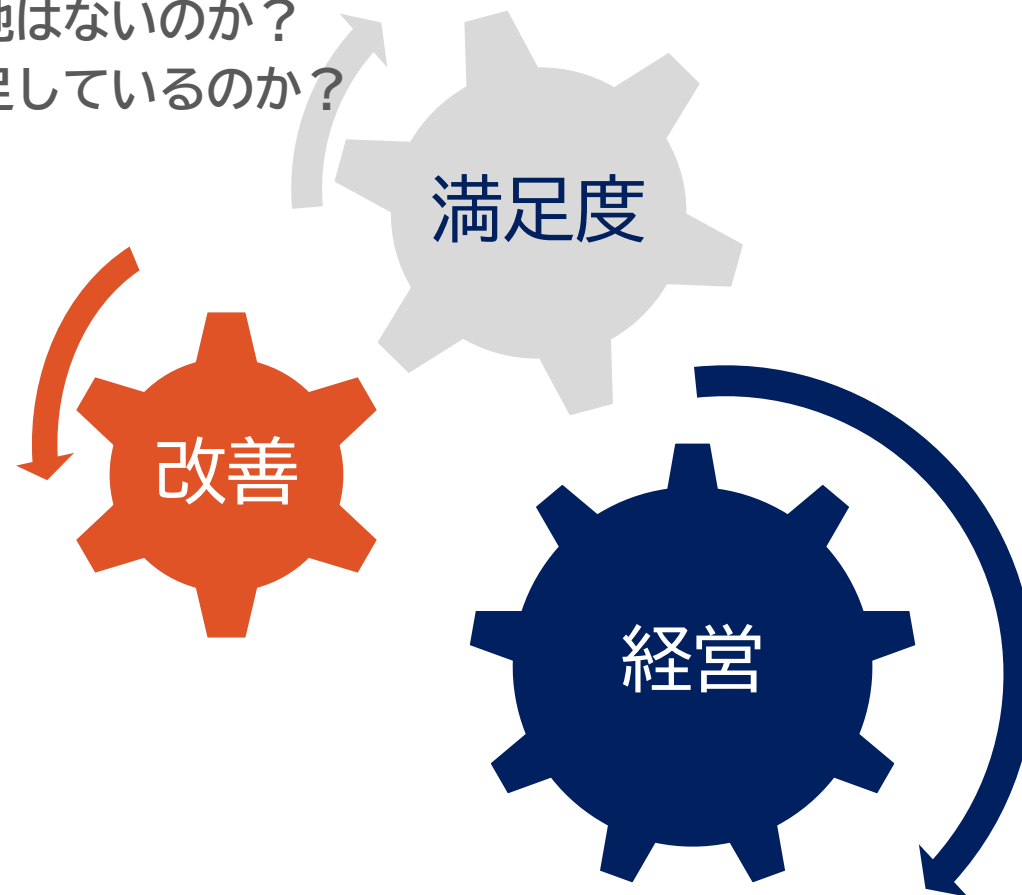
レセプト点検業の在り方,改善に向けて

- 現状の在り方に疑問はないのか？
- 改善の余地はないのか？
- 職員は満足しているのか？



■業務改善

- ✓ 時間短縮
- ✓ 精度向上
- ✓ 医療DX
- ✓ 査定率
- ✓ 働き方改革



■職員満足度

- ✓ 定時帰宅, 休日確保
- ✓ 医療DX, 業務効率化

■病院経営

- ✓ 労働時間の削減
- ✓ 職員満足度向上
- ✓ 給与費削減
- ✓ 査定率減少

業務改善と効率化に向けた検討材料



1

人財育成

業務共有・相互理解

2

経験者雇用

(スペシャリスト)

3

業務委託
人財派遣

4

既存システム更新(DX含む)



意思決定(導入)



AI. RECHECKER (AIレセチェッカー)

医療の効率化・高度化 = 医療のビッグデータ(レセプト) × AI
株式会社 Medical AI LAB



時間短縮

- 適正病名レコメンド機能
- チェック項目のデータ化
- 時間外手当の削減
- 印刷代/紙代の削減



レセ精度の向上

- 病名漏れ対策
- 高精度の点検判定
- 査定減による収入の安定化
- 査定分析による対策



人依存からの脱却

- 人力からAIへ転換
- 医療DX
- 労働時間短縮



コストカット



収入安定化



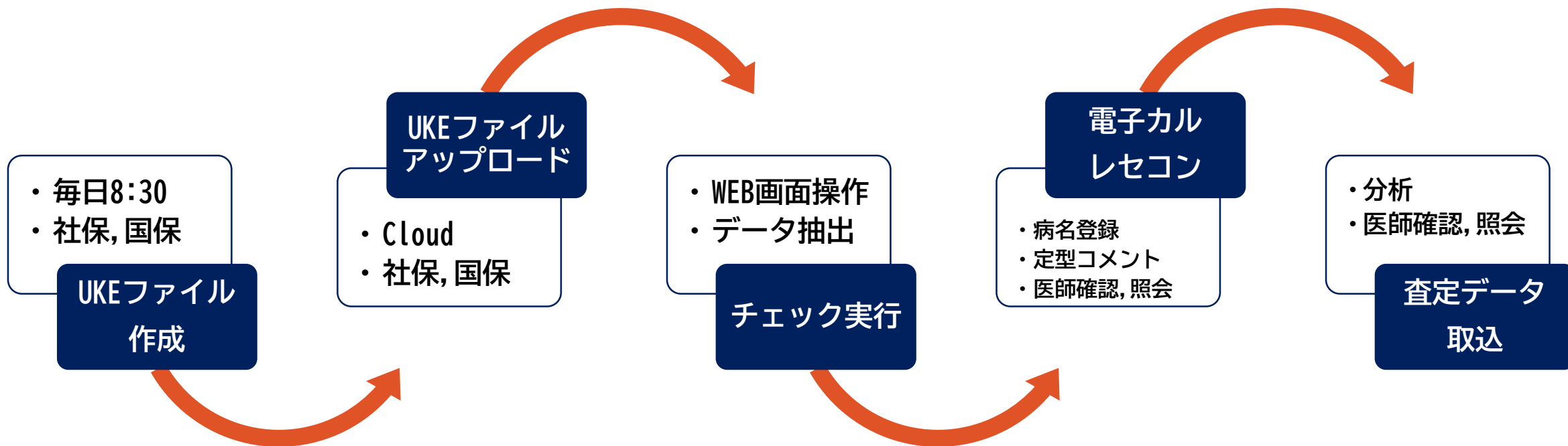
『働き方改革』対策

手順・サイクル



AI. RECHECKER (AIレセチェッカー)

医療の効率化・高度化 = 医療のビッグデータ(レセプト) × AI
株式会社 Medical AI LAB



操作画面

改善

AI. RECHECKER (AIレセチェッカー)

医療の効率化・高度化 = 医療のビッグデータ(レセプト) × AI
株式会社 Medical AI LAB

請求年月: 令和6年3月
診療年月: 令和6年2月

保険区分: 社保
レセプト種別: 1112

患者番号:
患者氏名:

性別: 男性 (46歳)
生年月日:

入外区分: 外来

特記事項:
診療科: 内科【内科】

状態: 修正要

レセプト印刷

#	傷病名	ICD-10-1	開始日	転帰
1	(主) 急性腰痛症	M5456		
2	(主) 変形性関節症	M1999		
3	十二指腸潰瘍【の疑い】	K269		
4	(主) 難治性逆流性食道炎	K210		
5	大腸癌【の疑い】	C189		
6	大腸憩室出血	K573		
7	嘔吐症	R11		

#	識別	診療行為名	📅	点数	回数	適応
1	12	再診料	2日 (1)	73	2	
2	12	外来管理加算	8日 (1)	52	1	
3	21	調剤料 (内服薬・浸煎薬・屯服薬)	2日 (1)	11	1	!
4	21	メトクロプラミド錠 5mg 「NIG」 (1錠)	2日 (1)	1	1	✓
5	21	タケキャブ錠 20mg (1錠)	2日 (30)	0	30	✓
6	23	ロコアテープ 10cm×14cm (28枚)	8日 (1)	0	1	✓
7	25	処方料 (その他)	2日 (1)	42	1	!
8	60	大腸内視鏡検査 (ファイバースコープ・S状結腸)	2日 (1)		1	✓
9		狭帯域光強調加算 (検査)	2日 (1)	1100	1	✓

AIが提案する修正候補

【1】 同日に「処方箋料 (リフィル以外・その他)」が算定されています。同一患者で同一診療日に、一部を院内で投薬し、他を院外処方箋で投薬することは、原則として認められず、処方箋料のみを算定するとされています。

【2】 同日に「処方箋料 (リフィル以外・その他)」が算定されています。同一患者で同一診療日に、一部を院内で投薬し、他を院外処方箋で投薬することは、原則として認められず、処方箋料のみを算定するとされています。

勤務実績から見えた変化(GW,年末年始)



- 定時退社
- 休暇取得



15名→0名

2023年度 対 2024年度



112時間→0時間

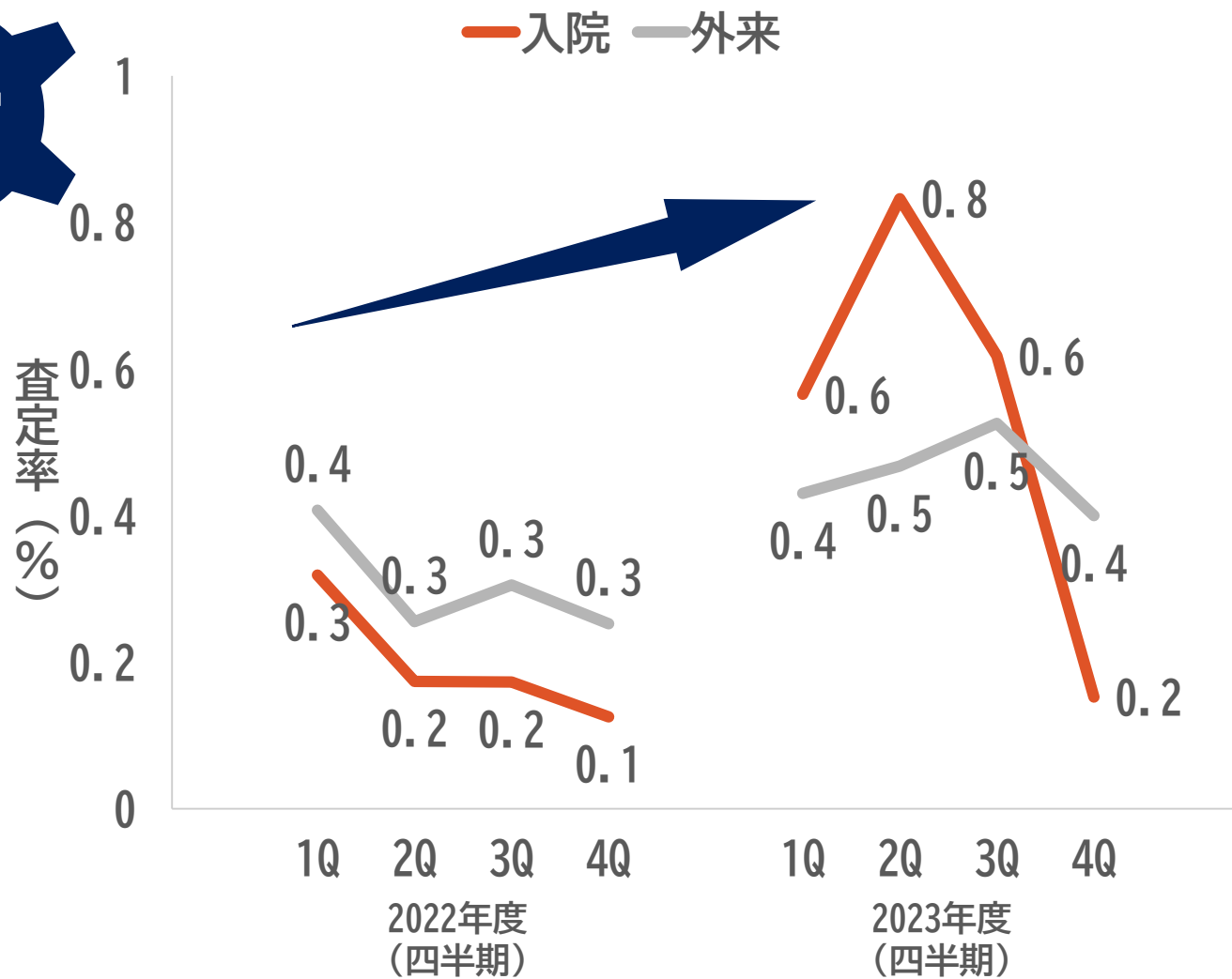
2022年度 対 2023年度



13名→2名

126時間→20時間

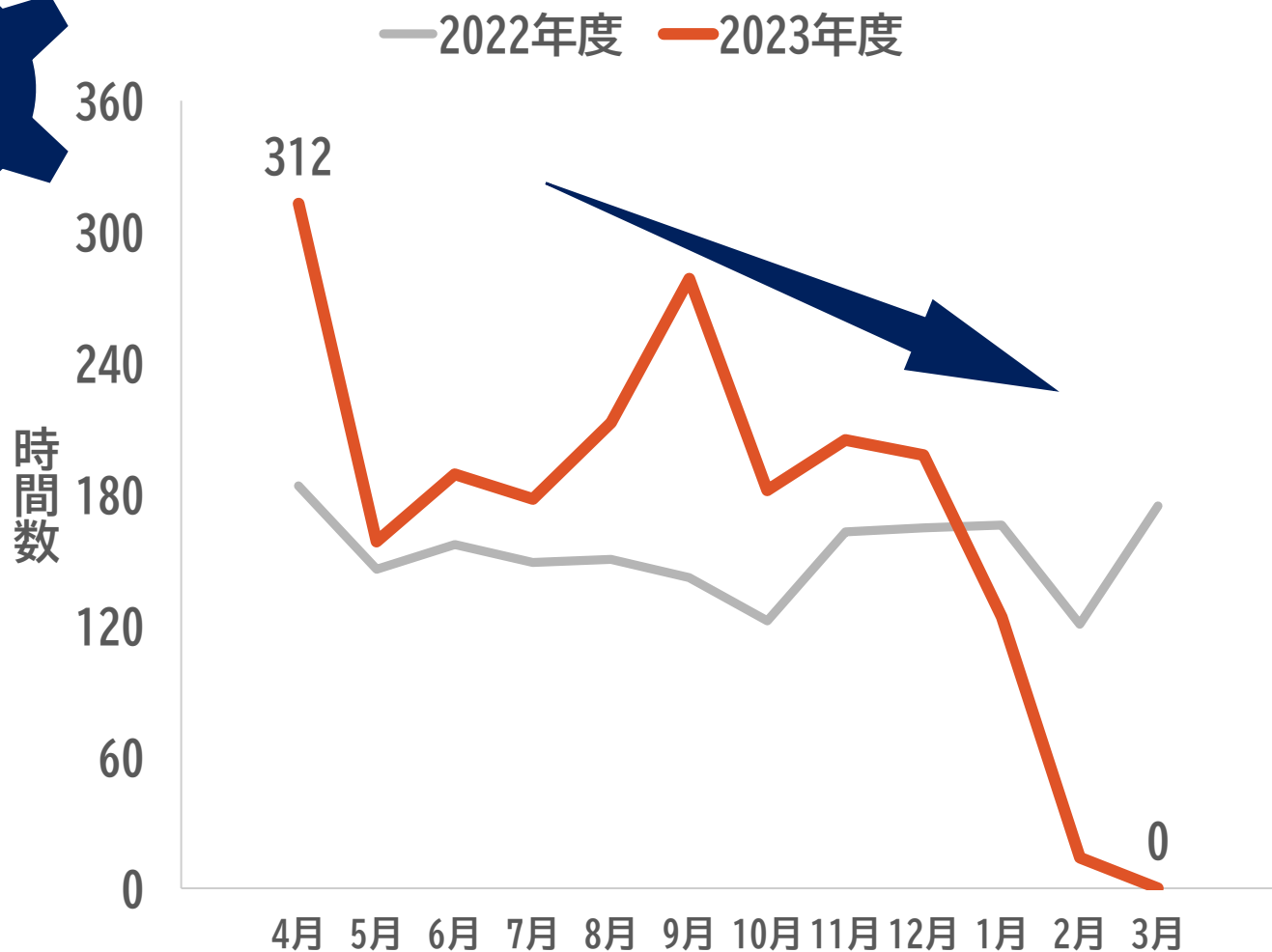
查定率(一次)の推移と効果



	2022年度	2023年度
查定率	入0.2% 外0.3%	入0.5% 外0.4%
查定額	入150万円/年 外120万円/年	入400万円/年 外180万円/年

効果	
入0.1%	80万円/年
外0.2%	90万円/年

超過勤務時間数の推移と効果



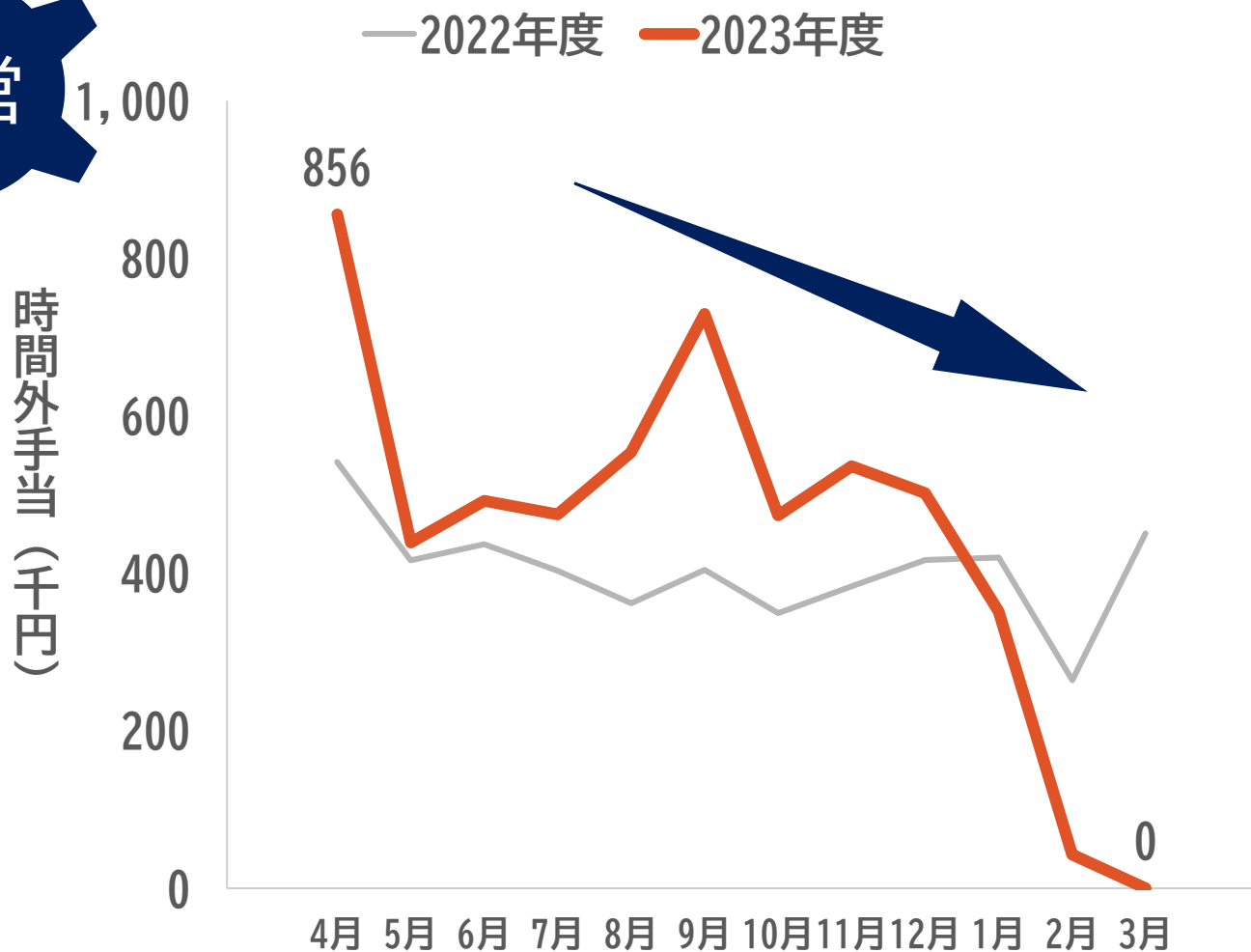
	2022年度	2023年度
超過勤務時間数	1840時間	2053時間
月平均	153時間	171時間

効果

▲ **2053**時間

※職員1名あたりの年間所定労働時間数は約1860時間。

給与費(時間外手当)の推移と効果



	2022年度	2023年度
手当額	485万円	545万円
月平均	40.5万円	45.5万円

効果

▲ **545**万円

※職員1名あたりの給与費は約430万円

結果

■業務改善

- ✓ レセプトチェック業務の大幅な見直し
- ✓ AIレセチェッカー導入

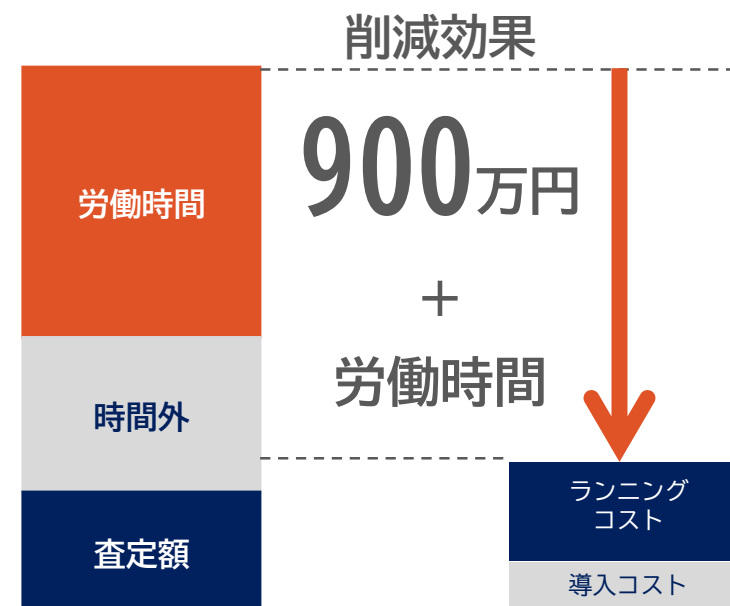
※導入期間(1か月) 導入コスト(15.4万円)+ランニングコスト(3.3万円/月)

■職員満足度

- ✓ 時間外勤務の削減, 定時帰宅の結果, 有休取得率向上によるワークライフバランスの充実

■病院経営

- ✓ 査定率減少(▲410万円), 給与費削減(▲545万円), 職員満足度向上, 労働時間削減による働き方改革への効果



結語と展望

レセプトチェック業務のみならず, 業務改善に対する

意識改革は組織として一步成長した. これらの取り組みを通じ過疎地の医療介護労働力を補う.

2023年12月

- AIレセチェッカーの導入



2024年xx月

- 抽出データを活用し, RPAとの連携を検討
- 次期, 電子カルテ, レセコンとの連携を検討



2025年xx月

- リアルタイムなレセプトチェック
試行